

第2回中部9県観光検定試験 解答と解説

【総合問題】

問1) 解答

(解説 テキスト「産業観光100選」p47)

明確な産業観光という意識をもって本格的な取り組みが始まったのは、1950年頃のフランスで、その動機となったのはフランス経営者協会の動きでした。産業製品の輸出を伸ばすためには、外国人に工場などの産業施設を見学を薦めるとともに、産業界にも呼びかけて受け入れ態勢の整備を行ったのが最初とされています。

問2) 解答

(解説 テキスト「産業観光100選」p41～42)

産業観光の資源は各地に散在し、その数は極めて多いことから、これらを巡ることは当然長期滞在につながります。例えば、陶磁器の作陶体験等では、同じ所に長期滞在する観光となりえます。

問3) 解答

(解説 テキスト「産業観光100選」p244～245)

輪島工房長屋は、石川県輪島市にあります。

問4) 解答

(解説 テキスト「産業観光100選」P87～92)

東アジア及び東南アジアの人は「近代ハイテク」への関心が高く、欧米の人は伝統産業への関心が高い傾向にあります。

問5) 解答

(解説 テキスト「産業観光100選」P84～89)

味覚や体感に訴える体験効果だけでなく、知覚、視覚に訴える学習効果も、観光客の得る効果としては大きいものがあります。

【富山県】

問6) 解答

(産業観光ハンドブック P.174～175)

黒部ダムは、高さ186メートルと日本一の規模を誇り、長さ492m、総貯水量は約2億立方メートルで、東京ドーム約161杯分に相当します。放水口を間近に見る新展望台からの眺望は素晴らしく、立山黒部アルペンルートのハイライトにふさわしい景観です。

問7) 解答

(産業観光ハンドブック P.282)

午前3時に観光遊覧船に乗って出航し、定置網でのほたるいか漁を見学するツアーです。ほたるいかは、「富山湾の神秘」と呼ばれる体長4～6センチメートルのイカであり、暗闇で青白く神秘的な光を放つ様子が楽しめます。

問8) 解答

(産業観光ハンドブック P.283)

古来、富山県で取れるブリは「越中ぶり」として名が知られ、飛騨街道を使って、現在の岐阜県や長野県に運ばれました。このため飛騨街道は、「ぶり街道」とよばれていましたが、このルートはこれまでノーベル賞を受賞した日本人12人のうち、田中耕一、利根川進、小柴昌俊、白川英樹の4名にゆかりがあるため、「ぶり・ノーベル出世街道」と名付けて、その沿線で観光の取組がなされています。

「ぶり・ノーベル出世街道祭り」は、街道を通じて運んだ寒ブリを、富山県(岩瀬、大沢野等)、岐阜県(古川、高山等)、長野県(松本)の三県の沿道各地で無料配布するほか、各地点にブリをテーマにして観光拠点づくりを行い、それをストーリーでつないで観光客にアピールする街道型漁業観光ともいえるべき新しい漁業観光です。

問9) 解答

(産業観光ハンドブック P.285)

富山市にある「ますのすし本舗源」は、富山の名産ますのすしの製造工程、昔ながらの製法で職人の技を伝え継ぐ伝承館を見学することができる人気の産業観光スポットです。

問10) 解答

2006年4月29日に開業した富山ライトレールは、JR富山駅北口から岩瀬浜の7.6キロメートルを結ぶ路面軌道を、カラフルな7色で段差のない超低床設計(床高30センチメートル。通常の路面電車は80センチメートル。)のLRT(ライトレールトランジット)車両が運行しています。このスタイリッシュなポティのLRTは愛称の公募により、「ポートラム(港のポートと、電車のトラムの造語)」と名付けられ、颯爽と走る姿が富山の新名物になっています。

【石川県】

問11) 解答

輪島塗の販売が全国各地に広まったのは、江戸中期からで、特に文化文政期(1800年代前半)には品種も多様化し、格調高い名品が作られました。

問12) 解答

北前船とは、江戸時代後半から明治時代にかけて日本海を中心に活躍した買い積み船で、大阪と北海道の間を一年かけて往復し、多大の財と文化をもたらしました。多くの北前船主がいた橋立は「日本一の富豪村」と呼ばれたほどです。

問13) 解答

北大路魯山人（当時は福田大観）は金沢の文人・細野燕台の紹介で吉野屋、須田菁華の刻字看板を彫るため山代温泉を訪れ、吉野屋の別荘を仕事場として約半年間滞在しました。その間、菁華窯で初めて作陶に接し、また北陸の美味に触れ、山代温泉の旦那衆と交流し、偉大な陶芸家であり美食家としての第1歩を踏み出しました。

問 14) 解答

金沢は、気候風土や水質が製箔に適していたことで、金箔の国内生産の98%以上を占めるといわれています。箔打ち機械で丹念に打ち叩き仕上げたあぶらとり紙は、紙の繊維がつぶれてなめらかでツルツルになり吸脂力がよく、肌がさっぱりすることから、古くより化粧紙として評判が高く、芸者さん、粋人のあいだで愛用されてきました。

問 15) 解答

毎年、豪華絢爛な百万石行列をはじめ、400年にわたり受け継がれてきた金沢ならではの伝統ある行事が賑やかに繰り広げられます。

【福井県】

問 16) 解答

（ふくいドットコム）

旧大和田銀行本店(現在の敦賀市立博物館)は、北陸初のエレベーターを備えた地上3階、地下1階の鉄筋コンクリート造りで、1927年に完工しました。約17mの高い軒高、内外にわたる重厚なデザインなど、全国的にも特筆に値する風格を誇ります。

問 17) 解答

（鯖江市HP）

鯖江産地は、チタン合金や形状記憶合金などの新素材開発に代表される品質重視のものづくりに、今や眼鏡枠では、国内の約90%、世界の約20%の生産シェアを持つまでに成長しています。世界が認める最先端技術を持つ鯖江産地は、高いデザイン力とブランド力を持つイタリアと、低コストでの大量生産を得意とする中国とともに、世界3大産地の一つとして確たる地位を築いています。

問 18) 解答

（ふくいドットコム）

東尋坊は、日本海の荒波の海食によって生まれた巨大な輝石安山岩の柱状節理（五角形、六角形の柱状の岩石の集まり）が、約1キロメートル続く豪快な景観です。日本で唯一の地形であり、国の天然記念物に指定されています。その勇壮な風景を、穏やかな夕陽が徐々に柔らかなシルエットに変えていきます。この対照美は東尋坊ならではの光景です。

問 19) 解答

（ふくいドットコム）

若狭・小浜では全国の塗箸の約 80%を生産しています。貝殻や卵殻などを使い、色とりどりの色漆で十数回も塗重ね、漆の層を丹念に研ぎ出し磨き上げることで、若狭塗箸特有の美しい海底の模様を描き出します。

問 20) 解答

越前加賀国定公園に位置する越前海岸には、約 60 ヘクタールに及ぶ水仙畑があり、日本の水仙の 3 大群生地の一つとされています。冬場の開花時期には水仙まつりも開催され、この時期は越前がにの漁期とも重なり、自然と味覚の魅力が満載です。

【長野県】

問 21) 解答

岡谷市にある旧林家住宅は、岡谷の製糸業発展の基を築いた初代林国蔵(くにぞう)の旧宅で、国の重要文化財に指定されています。この家は大隈流第 14 代棟梁伊藤佐久二により建てられたものです。伝統様式に洋式技術を巧みに取り入れた重厚な造りは見事で、日本の近代建築史上重要な価値を有しています。特に金唐紙(きんからかみ)と呼ばれる壁紙を張り巡らした部屋は、全国的にも非常に貴重なもので、製糸業盛んな頃の華やかな雰囲気を出しています。

問 22) 解答

諏訪地方は、戦前は製糸工業が中心でしたが、戦後は時計、カメラ等の精密工業都市として成長を遂げ、「東洋のスイス」と言われたほどでした。

近年は、電子分野での発展がめざましく、超精密・超微細加工など特色ある先端技術の開発も進められ、製品や技術が世界を舞台に活躍しています。腕時計やプリンタ、OA 機器のセイコーエプソン、家電住設機器(マイクロモータ、テープデッキ等)や情報周辺機器、産業用機器(ロボット等)の日本電産サンキョーなど、世界に通用する企業が多数あります。

甲州街道の終着点であり中山道の宿場町で諏訪大社の門前町、そして全国的にも名高い温泉地ということで、昔も今も多くの観光客が諏訪の地を訪れています。

問 23) 解答

飯田市の「りんご並木」は、昭和 22 年に町の 4 分の 3 を焼失する「飯田の大火」の後、防火帯としての役割とともに、「真っ赤なりんごの実る美しい町、そのりんごを誰一人盗む者のない心の美しい町づくり」を目指し、当時の飯田市立飯田東中学校の生徒たちの提案により生まれました。以後、50 年余りにわたり生徒によるりんご並木の手入れが受け継がれ、町のシンボルとして多くの市民に親しまれています。

昭和 30 年代の初めに山本有三が書いた「リンゴのなみ木」は、この生徒たちが、さまざまな苦難を乗り越え、自分たちの理想の実現を目指して進む姿を描いたもので、新潮文庫の『心に太陽を持って』の中に収められています。

問 24) 解答

“信州の鎌倉”と言われる別所温泉にある北向観音堂は、御本堂が北に向いている全国でも珍しい霊場で「厄除観音」として、南向の長野の善光寺に詣うで「未来往生」を、また北向の観世音に参詣し「現世利益」を祈願しなければ、「片方だけでは片詣り」になるとされています。

観音様が出現した北向観音の本坊は、天台宗、金剛山、照明院常楽寺といい、本尊は「妙觀察智弥陀如来」で、宝冠を頂いた珍しい阿弥陀如来像です。

北向観音堂は、825年（天長2年）に慈覚大師によって開創されました。969年（安和2年）平維茂は一山を修理し三楽堂、四院、六十坊を増築したと伝えられています。1182年（寿永元年）木曾義仲の戦乱により焼失し、安楽寺の八角三重塔、常楽寺の石造多宝塔を残すのみとなり、その後、源頼朝の命により復興、1252年（県長4年）塩田陸奥守北条氏により再々興され現在に至っています。

問25) 解答

松本市のシンボルである松本城は、築城400年の歴史を持ち、その五層六階の天守閣は現存する日本最古のもので、国宝に指定されています。雄大な北アルプスを背にそびえ立つ漆黒の姿は烏城（からすじょう）と呼ばれています。春は桜の名所としても知られています。

松本は16世紀はじめに小笠原氏が支城を築き、さらに戦国の中でたびたび主を変えながら、最終的には戸田氏6万石の居城地となって、山懐の城下町を形づくってきました。

【岐阜県】

問26) 解答

八百津発電所は、木曾川水系最初の水路式発電所として1911年に誕生しました。当時では最大級の7500キロワットを出力し、大容量高圧送電を担った同発電所は、技術的にもその歴史的価値が高いものです。同発電所は、1956年にダム式の丸山発電所、1971年に新丸山発電所が運転を開始したことによりその役割を終え、1974年にその歴史に幕を閉じました。1977年に県の指定重要文化財となり八百津町郷土館として活用されていましたが、平成10年に国の重要文化財に指定され、現在は旧八百津発電所資料館として開館しています。

問27) 解答

美濃焼は、岐阜県多治見市、瑞浪市、恵那市、土岐市、可児市、御嵩町を主な産地とする岐阜県を代表する焼き物で志野焼、織部焼、黄瀬戸、瀬戸黒などの種類があり経済産業省伝統的工芸品に認定されています。

問28) 解答

関市は、鎌倉時代を起源とする刃物の歴史を持ち、「関の孫六」として全国にその名を知られる有名な刀匠を生んだ「日本一の刃物のまち」です。関市にある「関鍛冶伝承館」は、関市に古来より伝わる匠の技を、映像・資料・展示により紹介している産業観光施設です。

問29) 解答

YS-11は、1959年（昭和34年）に設立された日本航空機製造㈱に国内航空機メーカー6社が参画し、戦後はじめての国産旅客機として設計、試作を行いました。試作1号機は1962年（昭和37年）に名古屋空港で初飛行しました。

1972年（昭和48年）までに182機をもって生産を終了しましたが、展示機の主翼とエンジンナセルは当地各務原で生産されたものです。（かかみがはら航空宇宙科学博物館ホームページより）

問30) 解答

飛水峡は、七宗町から白川町まで国道41号沿いの約12キロメートルの渓谷です。激流で浸食された約800個の壺状の甌穴群など珍しい岩々に、四季折々の渓谷美が重なり、自然の神秘を感じさせます。

【静岡県】

問31) 解答

グリーンピア牧之原は、日本一の大茶園が広がる牧之原台地に開設された茶をテーマとする総合的な農業観光施設で、建物部分と茶畑部分からなり、茶の製造過程の見学や試飲、茶料理、ショッピングが楽しめるほか、茶摘み体験もできます。

問32) 解答

わさび栽培の発祥の地は静岡市有東木です。

およそ400年前の慶長年間（1596～1615）頃有東木の村人が、わさび山の渓谷一面に自生しているわさびを採って、「井戸頭」という湧水地に試しに植えたのが始まりだと伝えられています。

当時大御所として駿府城に居を構えた徳川家康公に献上したところ、家康公は、ことのほか愛好し、門外不出の御法度品になったと伝えられています。その後、わさびの栽培技術が全国に有東木からひろまっていきました。

問33) 解答

大型ジェット機も離発着が可能な長さ2,500メートルを確保しています。

問34) 解答

徳川家康公の遺言により2代将軍秀忠公が創建し家康公を祀りました。権現造、総漆塗、極彩色の社殿は、彫刻、模様、組物等桃山時代の技法を取り入れた江戸初期の代表的建物で、楼門や神楽殿などとともに国の重要文化財に指定されています。

本殿の裏手に家康公の廟所（墓所）があります。

問35) 解答

味噌、醤油、酒、酢の醸造などの伝統産業では、愛知県の知多半島において、半田市の酒、酢、岡崎市の味噌、常滑市の醤油の生産等、食の産業が集積しています。

【愛知県】

問 36) 解答

岬の最先端には、昭和 4 年に建てられた白亜の灯台がある。灯台から太平洋岸沿いの約 1 キロメートルに渡る海岸線「恋路ヶ浜」は、太平洋の荒波をうけて湾曲する美しい砂浜で、数々の「日本の百選」（道・渚・白砂青松・音風景）に選ばれています。

問 37) 解答

旧カプトピール工場は 1898 年に建設されましたが、第二次世界大戦中は飛行機の倉庫として利用されました。その後コーンスターチの原料加工工場を経て、1998 年市に買い上げられています。

問 38) 解答

1574 年に信長は瀬戸物以外の焼き物を禁ずる「禁窯令」を出しました。

問 39) 解答

名古屋駅を起点に産業技術記念館、ノリタケの森、名古屋城、徳川園・徳川美術館・蓬左文庫、文化のみち二葉館、市政資料館、名古屋テレビ塔、広小路栄、広小路伏見を巡る名古屋の観光ルートバスです。土曜日や日曜日、休日にはガイドボランティアが乗車し、観光案内を行っています。

問 40) 解答

有松鳴海絞りは、名古屋城築城の際に九州豊後の人々により伝えられた技法をもとに、創意工夫をかさね作り出されたと言われていています。尾張藩は、有松鳴海絞りを藩の特産品として手厚く保護し、東海道を行きかう旅人が郷里へのお土産として買い求めたそうです。

【三重県】

問 41) 回答

(「三重県 HP」「三重の伝統工芸品 HP」より)

伊勢形紙は鈴鹿市寺家を中心生産地とする着物の生地を染め上げるための型です。柿渋で加工した和紙の形紙に彫刻刀で紋様を丹念に刻み、彫りぬいて作ります。市木木綿は御浜町の特産品で、市木木綿の正藍染は、何回洗濯しても色あせすることがなく、普通木綿の 3 倍の耐久力があるといわれています。深野紙は松阪市の伝統的工芸品で、品質の良い和紙です。の和太鼓は桑名・いなべ市を中心とした伝統的工芸品。かつて鈴鹿山系北部には良質の樺が豊富に産し、員弁川の水運により木材が集まったことから、一大産地となりました。

問 42) 解答

桑名の商人・沼波弄山が築窯し永遠に変わらないことを意味する「萬古不易」の印を押した

ことから始まった萬古焼。四日市萬古焼として国の伝統的工芸品にも指定されています。現在、土鍋は全国シェアの7割程度を占め、『蚊やりぶた』や紫泥の急須と合わせて、全国でも有数の売り上げを誇っています。信楽焼は滋賀県、の九谷焼は石川県、の織部焼は岐阜県の伝統産業として知られています。

問 43) 解答

現在のミキモト真珠島はかつて、相島(おじま)と呼ばれ、1951年に整備・開島されたものです。島内では、真珠の歴史と文化を紹介している真珠博物館をはじめ、幸吉翁の生涯がわかる御木本幸吉記念館、ショップとレストランを備えたパールプラザなどの施設や海女の潜水作業も見学できます。また、ミキモトブランドをはじめ、ミキモト真珠島オリジナルの真珠製品の販売も行っています。坂手島・菅島は鳥羽市に、渡鹿野島は志摩市にある島です。坂手島はわかめ養殖が盛んで、菅島は、国内で現存する最古の煉瓦作りの洋式灯台「菅島灯台」がある、全体が山地になった島です。渡鹿野島は、的矢カキの養殖で知られる的矢湾の中央部に浮かぶ周囲約6kmの小島です。

問 44) 解答

鳥羽港北東の離島答志島では、男子が15歳に達すると、寝屋親(疑似親)を頼み、寝屋親の家(寝屋)で数人が寝泊まりしながら、兄弟同様の結束を固める寝屋子という慣習があります。寝屋子制度は漁村に住む人々の環境に適した生活方法として形成され、慣習として地域に定着しているものです。答志島では、この慣習をモデルにした宿泊型の体験プログラム「寝屋子体験観光」も行われています。日間賀島は三河湾にあり、魚介類の魅力を活かした観光が盛んです。神島は、三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台になった島です。間崎島は英虞湾にあり、真珠の養殖が盛んです。

問 45) 解答

遷宮(せんぐう)とは、神社の正殿を造営・修理する際や、正殿を新たに建てた場合に、御神体を遷すことです。式年とは定められた年という意味で、伊勢神宮では20年に一度行われます。

第1回の式年遷宮が内宮で行われたのは、持統天皇4年(690年)です。それから1300年にわたって続けられ、最近では、昭和48年に第60回、平成5年には第61回の式年遷宮が行われ、平成25年に第62回式年遷宮を予定しています。

【滋賀県】

問 46) 解答

明治33年(1900)第百三十銀行長浜支店(6年後に明治銀行となる)が建てられ、壁が黒塗りだったことから「黒壁銀行」の愛称で親しまれました。和洋折衷の重厚な建物は、その後さまざまな変遷を遂げ、平成元年(1989)「黒壁一號館・黒壁ガラス館」としてオープンしました。

問 47) 解答

1885 年（明治 18 年）に着工し、1890 年（明治 23 年）に大津から鴨合流点までと、蹴上から分岐する疏水分線が完成しました。トンネルになっていない区間のうち、大津市（第 1 疏水第 1 トンネル入口付近）、京都市山科区（山科疏水）、京都市東山区（インクライン周辺～鴨川）のいずれも、沿線に桜が植えられている区間が多く、花が咲く時期には水と桜の織りなす大変美しい風景を見ることができます。

問 48) 解答

旧琵琶湖ホテルは岡田 信一郎氏の設計です。あとはすべてヴォーリズ氏が彼の設計事務所が設計しました。

問 49) 解答

五個荘町（ごかしょうちょう）は 2005 年 2 月 11 日に、八日市市、神崎郡永源寺町、愛知県愛東町、湖東町と合併して東近江市となりました。現在の五個荘金堂町では、旧外村宇兵衛（とのむらうへい）邸、旧外村繁（とのむらしげる）邸、旧中江準五郎邸（なかえじゅんごろう）など、江戸末期から近代にかけて隆盛した近江商人の質実剛健な生活ぶりをうかがうことができます。

問 50) 解答

1882 年（明治 15 年）に北陸線の始発駅として建設された初代の長浜駅は、現存する駅舎としては日本最古のもので、第 1 回の鉄道記念物に指定されています。施設内は、駅長室や待合室など、当時の面影をそのまま残しています。